

第 10 回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事

1 日時 平成 28 年 12 月 9 日（金） 18 時 30 分から 20 時 30 分

2 場所 北広島市役所第 3 庁舎 3 階会議室

3 出席状況

NO	氏 名	職 業 等	出欠
1	上 原 康 雄	北広島市観光協会会長	欠
2	山 崎 悦 子	北広島商工会会員（行政書士山崎法務事務所）	出
3	(副座長)千 葉 隆 一	札幌ゴルフ倶楽部 支配人	出
4	田 村 直 人	札幌北広島クラッセホテル総支配人	出
5	(座長)川 口 満 久	ホクレン農業協同組合連合会統括マネジャー	出
6	中 村 哲	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	欠
7	三 浦 麻 衣	市民（会社員）	欠
8	善 甫 啓 太	市民（会社員）	出
9	山 田 基	北広島市経済部観光振興課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所 属	役 職	氏 名
経済部観光振興課	主 査	青 木 潤
	主 事	高 木 梢
	主 事	千 葉 啓

傍聴者

人 数
0 人

4 議事録

1. 開会

事務局) ただいまから第 10 回きたひろしま都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。

まず本日は、委員の過半数が出席されておりますことから、会議は成立していることを報告させていただきます。

それでは早速ですが、座長に進行をお願いいたします。

2. 議事

座長) それでは次第に従いまして、「(1) H28 年度の都市型観光事業の報告について」、事務局より説明をお願いします。

事務局) H28 年度の都市型観光事業の報告について、前回の協議会の後に実施した事業のご報告をさせていただきます。

1 つ目は「さっぽろ圏魅力発見フェア」です。10 月 29 日と 30 日に JR 有楽町駅前広場で開催されました。このイベントは石狩管内の 8 市町村で構成している「札幌広域圏組合」が主催しており、首都圏でのプロモーション活動として北広島市も参加いたしました。このイベントの目的は、観光と移住定住の 2 つです。PR ステージやパンフレット配布コーナーのほか、特産品紹介コーナーでは市内の「エーデルワイスファーム」のベーコン串の販売と合わせてパンフレットを配布し PR を行いました。有楽町の駅前ということで人は多かったのですが、観光や移住定住の PR にマッチする人を捕まえるのがなかなか難しいと参加してみて感じました。事業自体は札幌広域圏組合で実施しているのですが、我々の意見もお伝えして、引き続き広域のプロモーション活動には市としても参加していきたいと考えています。

2 つ目は「CYCLE MODE international 2016」です。11 月 4 日から 6 日に幕張メッセで開催された国内最大級のスポーツ自転車の展示会ということで、自転車のメーカーやサイクルツーリズムに取り組む自治体や旅行会社のブースがいくつか出ていまして、北広島市も出展いたしました。3 日間の来場者数は 3 万人と発表されていますが、市のブースでは VR 体験といって、自転車に跨ってゴーグルをかけると市内の景色が 360 度見渡せる動画を用意し、実際に北広島市でサイクリングしているような疑似体験をしていただきました。VR の体験者数といたしましては、1 日目が 109 名、2 日目は 108 名、3 日目は 88 名でした。3 日目は終了時間が 1 時間ほど早かったので数は少なくなっています。1 人あたり体験時間はセッティングも含めて 4~5 分かかりますが、開場から途切れることなく常時 5~6 人くらい並んでいただいているような状態が続いていました。ブース内ではコンセプトブックの配布も行い、1,500 名の来場者に受け取っていただきました。また、メディア掲載については、確認できているところで 12 箇所のメディアに記事を掲載していただき、ある程度 PR に繋がっているかなと思います。来場者は日頃から自転車に乗る方が多かったので、北広島市にサイクリングロードがあることを知っている方は半数くらいいました。残り半数の方は分からないということで、エルフィンロードを知ってもらう良い機会になったと思います。首都圏から北海道へ自転車で来られる方の多くは、新千歳空港から自転車に乗って札幌まで行くとなると、どうしても国道 36 号を利用されるので、空港から札幌までのルートを周辺市町村と連携して広域的に作ったり、エルフィンロードへ人を流すような取組みができるのではないかなと思いました。来年度も引き続きプロモーションの活動は行いたいと思っています。

3つ目は台湾で開催された「日月潭 Come!Bikeday」という自転車イベントです。日程としては、サイクリングイベントが11月13日、セミナー・商談会が14日から15日に行われました。台湾の中間に位置する日月潭にある湖を一周するサイクリングイベントがあり、参加者が約3千名とかなりの人数の方が参加されていました。今回は北海道観光振興機構さんでこのイベントにブース出店するという事で、相乗りする形で繁体字の観光パンフレットと自転車のコンセプトブックを配布させていただきました。14日は台中市でセミナーを受講しました。

講師のお一人目は隆祥旅行社の方で、今年、道北を1週間くらいで周るサイクリングするツアーを企画したそうです。ツアー造成で気にすることだとか、どんな場所が喜ばれるのかなどをお話いただきました。今後はお客さんの要望でウニを食べに道南・奥尻島を巡るサイクリングツアーを予定しているそうで、北海道の現地の情報をもっと知りたいと言っていました。今回コンタクトを取れたということで引き続き北広島市の観光情報を提供しながら今後のツアーに北広島市を組み込んでもらえるようなアプローチをしている状況です。

二人目の講師は自転車メーカーのGIANTの旅行部門「GIANT 旅行社」の方で、こちらの会社でも北海道の美瑛・富良野・旭川でサイクリングツアーを行っているようで、GIANT 旅行社さんも同様に北海道を走るうえで情報が足りていないと言っていました。こちらでも引き続き情報提供を続けていきたいということで、現在もコンタクトを取っている状況です。

15日は台北で中華民国自転車騎士協会の方によるサイクリングセミナーが行われました。中華民国自転車騎士協会では独自にサイクリングツアーを商品化して、しまなみ海道や北海道、沖縄、能登などに行っているようで、この方とも引き続き連絡を取り合っている状況です。

他に、実際に日本への送客を行っている旅行会社4社と商談会も行い、台湾との繋がりが出来たと個人的には感じています。今後も引き続き現場の声を聞いていきたいなと思っています。以上です。

座長) 質問、ご意見がある方いらっしゃいますか。

○協議会からの意見

- VRの動画はもう見ることは出来ないのですか？自分でゴーグルをつけて体験出来る場所は？
 - YouTubeで公開しています。体験出来る場所は、現状ではこのサイクルモードだけです。
「OculusRift」などの機材があればどこでも体験ブースを作ることは出来ます。機材がなくてもスマートフォンとダンボールなどで出来た簡易なVRゴーグルがあれば画質は落ちますが個人でも体験することは出来ます。
- 掲載メディアとありますが、記事の内容は北広島市のブースの紹介だったのでしょうか。
 - そうです。自転車関係のメディアでは、サイクルツーリズムに取り組む自治体の紹介ということで当市のブースが紹介されました。その他にIT系メディアで、VRを用いた自治体の取組みということで注目されました。
他の自治体のブースは、パンフレットの配架がメインだったためか、当市の体験型のブースは比較的目立ちまして、SNS等での評判も良かったです。体験者がVRのゴーグルで見ている映像が、通路側のモニターにも映し出され、それを見に人が集まり、また行列になる、といった感じでした。
- VRの制作には代理店が入っているのですか。委託料はどれくらいかかっていますか。

- 道内のイベント会社に、ブースの造作と VR コンテンツの制作、コンセプトブックのデザインをセットで委託しています。委託料は約 190 万円で、ブース造作のタペストリーや、VR コンテンツ等は他のイベントで流用することが出来ます。
- 自転車観光の魅力だけで台湾から観光客を呼ぶのは難しいと思います。広域で PR するのであれば魅力の出し方も違うと思うのですが、北広島市だけで攻めるのであれば市内の食を結びつけることが重要です。台湾の方は北海道の食にすごく魅力を感じていますから。サイクリングも競技のようなものじゃなく、「ゆっくり走りませんか」というアプローチの方が良いと思います。
- 北海道で自転車のマナーに関する条例を作る動きがあります。北広島市も自転車のまちを PR するのであれば、先進的にマナーの向上に取り組んでいることをホームページに載せると良いです。また、国によって交通ルールが全然違いますから、日本の交通ルールを分かりやすくまとめたものを配るとか走りやすくなる工夫をしないと、せっかく来てくれても事故が起きたら大変です。北広島市に来れば 1 日～2 日くらいの保険に手軽に入れるなど、窓口を作るのも手です。自然の多さでは恵庭と千歳に、物の多さでは札幌に負けてしまいますから。

事務局) 富良野と美瑛、胆振振興局、釧路なども広域でサイクルツーリズムに取り組んでいます。広域での取り組みは必要だと事務局も感じていて、石狩管内では観光としてサイクリングに取り組んでいる行政はいないのですが、空知等は盛んですので、連携の方法を考えています。

○協議会からの意見

- 今回の台湾での PR イベントでは、台湾の旅行会社との繋がりが出来たのは勿論ですが、道内のサイクルツーリズム関連団体との繋がりが出来たのも大きな収穫。
- 恵庭市は市長をトップに海外投資セミナーを台湾で行い、企業に対してビジネス投資を促す動きがあります。その企業誘致に同行して観光の PR やシティセールスを行っているようです。
 - 千歳市も独自に空路で繋がっているまちでイベントを開催し交流しています。バラバラに取り組むのではなく、広域的に PR すれば、他の地域に勝てないかもしれないけど、負けにくいという事は出来ると思います。
 - 石狩振興局では「ようこそいしかり」プロモーションという事業を 2 年前から実施していて、海外の方を誘致して、新篠津村の“たっぷの湯”を拠点に石狩管内を周遊していただいています。当然、大都市札幌にも寄りますが、札幌からも石狩管内に人を流すような取り組みは考えています。
- 北海道商工会議所で主催した「北海道・静岡県サイクル交流会」に事務局も参加していましたが、その時に丘珠空港周辺を走っていただきました。来年から丘珠空港で自転車を組み立てするスペースを作りますから、丘珠空港から札幌の街中を通らずに江別市、北広島市に流れて来るようなルートが出来れば、空港についた人を北広島市に呼び込むことは出来ると思います。

座長) 以上でよろしいでしょうか。それではその他について説明をお願いします。

事務局) 【北海道開発計画調査の概要等について説明】 ※勉強会のため非公開

座長) 質問、ご意見がある方いらっしゃいますか。

○協議会からの意見

- 資料にあるアジア主要7カ国の食の好みとして、温かい食べ物が好まれるとありますが、どの国も気候が暖かいですから、火を通して食べたいという事情が根底にあります。
- 北海道はフードランドだけどグルメランドになっていないとよく言われます。関西は粉もの文化ですが、小麦粉自体は北海道のものを使用しています。北海道のものに手を加えて独自の文化にしている。北海道はこれだけの食材があるから、もっと手を加えればもっと良くなります。
- 北海道では海鮮とカニ、メロンが人気。また、牛肉が人気であるとは強調していました。
 - 北海道というより、和牛が世界的にブームになっています。
- ジンギスカンに使っている生ラムで、北海道で生産しているものは1%未満です。それでも北海道の郷土料理として根付いているのはイメージが定着しているからです。他の特産品は北海道産のものばかりですからジンギスカンは珍しい例です。
- ラーメンも人気です。すすきのラーメン横丁、札幌ラーメン共和国、旭川のラーメン村など、ラーメンのテーマパークを盛り込んだツアーも企画されているようです。
- 北海道開発計画調査の一環で、ファムトリップの訪問地として「くるるの杜」に声がかかって、シンガポールの方に餅つきの体験をしてもらいました。11月なので体験出来るプログラムも限定されるのですが、米の栽培の過程や収穫の仕方など、「昔は家族や親戚、近所の人が集まって餅つきをしました」と通訳を通して説明します。ついた餅は、自分で大豆を炒ってつくったきなこ甜菜を混ぜて食べてもらいました。

きなこを作る体験も、自分で作ってみるとたくさん大豆からほんの少ししか作れない。今はパック売りで簡単に手に入りますが、昔は本当に大変だったんだな、との意見もアンケートでいただいています。

説明もきちんとするのですが、見る・読む・聞くだけだと記憶に残らなくて、自ら体験して発見することが記憶に残るのだと思います。今取り組んでいるサイクルツーリズムも、バスで移動するだけじゃなくて実際にまちを走ってみると記憶に残りやすくなるので、動きを取り入れた取組みは重要だと思います。

 - 以前、ラジオでカレーライスを一から作るという企画をやっていました。米はもちろんですが、肉も雞から育てて、自分で捌きます。日常で食べているカレーライスも自分で一から作ると大変なことだと認識すると、同じ食べ物でもまた違った魅力を感じる事が出来ます。それに近い話に聞こえました。
- アンケート結果によると欧米豪などは体験やアクティビティを求める声が大きいです。旅行がある程度成熟した国はFITでの体験型観光にシフトしていく傾向にあります。
- 台湾の旅行会社もFITの方向に向かっています。どの国もディープな、気に入ったところには何度か訪れるような旅行にシフトしています。富裕層がこのまちを気に入ってくれば毎年来てくれると思います。
- 歴史観光の件ですが、北海道観光マスターの資格を取るために、初めて北海道の歴史を勉強しました。北海道の学校の授業では、アイヌ文化や北海道の歴史は詳しく習わないので、北海道の人でも歴史をよく知らない方が多いです。それを今後、観光で商品化していこうというものなのですか。

- 北海道は歴史の面での観光振興が弱いというのが本音です。アイヌ文化など歴史遺産をもっと伝えていこうといったものです。

事務局) あとは北海道ではメロンが人気で、アジア圏ではどの国も認知度が高く食べてみたいものとして挙げています。果物狩りや料理体験、酪農体験、漁業体験などを求めているようですが、北広島市であればどんなものがありますか。

○協議会からの意見

- 時期的なものですが、いちご狩りは良い。メロン狩りもやってみたら流行ると思います。
 - くるるの杜では、冬にもいちご狩りをやっています。
- 先ほどの餅つき体験もそうですが、太鼓叩きなど、日本の文化に触れる体験ものを混ぜて行くと、とても喜ばれます。餅つきが非常に好評価だったというのは、今後の事業で活かしたいと考えています。
 - 餅つき体験も、「迫力ある伝統的なスタイルでの体験を求める」とありますが、どんなものを求めているのでしょうか。餅つきの文化がとても派手だと先入観があるのだったら、ちゃんと教えてあげるのも大事なことですよね。
 - コスチュームの部分が大きいと思います。着物のようなものを羽織るだけでも違うのかと思います。もう少しコミュニケーションを密にして、求めているものをリサーチする能力も必要だと感じました。
- 他市ではゆり根の選別作業の体験などもありますが、そもそもゆり根を食べる文化がないと楽しめないかもしれません。
- 「きたひろ焼き」はいかがですか、前に、生地は米粉、肉は鹿のばら肉を取り寄せて作ってみたのですが、やっぱり肉がお好み焼きに合わなくて失敗してしまいました。プロに基本のレシピを作ってもらって各所で作ってもらえば、広まっていくくらいの面白さはあると思います。ぜひクラッセホテルのシェフにお願いしたいです。
- 北海道観光振興機構でも毎年招聘ツアーを実施しています。
 - 北海道内でも様々な団体が活動しています。単独でやるよりも広域的にやった方が経費的にも効果的ですから、積極的に北海道観光振興機構の事業にも今後も取り組んでいきます。
- 営業に行った際にクーポンを持っていく方法もあります。
- 何十人という団体旅行よりも、数人の個人グループ向けの商品を旅行会社が作りたいとなると、少人数でも対応できる施設は注目してもらえます。
 - 最近は4人でも団体扱いする航空会社があります。台湾の旅行会社はFITをターゲットにしている、団体旅行はもう相手にしていません。その代わり客当たりの単価が高い。北広島市の宿泊規模や受入環境を考えたら、単価の高い層を呼び込んで、リピートして貰えるように至れり尽くせりのプランを提供するのが良いです。
 - 市場が団体旅行から個人旅行へ移行しているというのはどこも注目していて、個人客にきっちり対応していくことでリピーターに繋がっていきます。
- SNSでの発信、口コミは経費もかからず、訴求力もあります。ブロガーの招聘も手です。
- 台湾ではガイドに客がついているので、ガイドに北広島を知ってもらって、「北広島なら冬に自転

車が乗れる」などの情報が引っかければ送客の見込みはあります。

- PRをするよりも、実際に来てもらって体験してもらう方が効果的です。まずは2~3人呼んでみましょう。
- 市内の宿泊施設の外国人受入も少しずつ進んでいます。自然の森キャンプ場にも少しずつ外国人宿泊数が増えている状況です。
 - 札幌に近いし、広い駐車場と、虫もいれば釣りもできる環境があればもっと人が来ると思います。
 - 自然の森キャンプ場を利用している外国人は、あらかじめ予約しているのではなくて、道内を回っている途中のどこかで、キャンプ場を知って連絡していることが多いです。多くは前泊しているホテルからの連絡が多いようです。

事務局) 一昨年、クラッセホテルさんにインドの方を招いてアクティビティを楽しんで貰いましたが、2月に雪を被るだけでも喜んでくださいましたが、閑散期である冬にもいろんな提案が出来るかもしれません。

○協議会からの意見

- 北海道の課題として、ハイシーズンは良いのですが、それ以外のシーズンが全国平均を大きく下回っています。そのダウンの部分をどうするかが鍵になります。
- 自然の森キャンプ場で冬キャンプはどうでしょうか。冬は夏よりも荷物が減るのでむしろおすすめです。子どもは雪遊びが出来ます。冬の動物も魅力的です。冬に受け入れてくれるキャンプ場は少ないので有り難いです。
 - 春先も3月の春休みの時期にやる人もいます。虫が良いという人もいますが、虫刺されもないので春キャンプも良いですね。
 - 台湾の方もどんどんニッチな分野に進んでいますので、冬のキャンプも需要があると思います。
- 北海道は道東や道北に宿が少ない土地柄ですから、空港でキャンピングカーをレンタルできるサービスもあります。
 - 道東でも冬にどのようにして人を呼ぶか、検討しています。道東はどうしても二次交通が不便なので苦労しているようですが、北広島ならその心配もありません。
- 冬の雪上マウンテンバイクや雪上バブルサッカーなど、雪を使ったアクティビティは今年からでもクラッセホテルさんでやりましょう。
 - 普段は入れない冬のゴルフ場を走るとするのは事務局でも案が出ています。一度やってみたいです。
 - 冬のアクティビティについては、ふれあい雪まつりの2日間という短期間ですが、寒地焼肉や雪中バブルサッカーや移動動物園など、お試的に取り組んでいます。クラッセホテルさんにも依頼して中国語に翻訳したチラシを置かせていただいたこともありました。実際はなかなか人が集まらないのですが、情報発信の仕方や受入態勢を考えれば何かしら良い物が出来るのではないかと取り組んでいます。
- 雪合戦は昭和新山で国際的でやっていますから、北広島では他にない、違う遊びがあれば外国人にとっても楽しい観光になると思います。

座長) クラッセホテルさんでは旅行客の動きはいかがですか。

委員) 8月からの赴任ですが、全体を見ても個人客にスライドしてはいます。ビジネスの面から見ても、ターゲットも個人客にシフトしないと、一人当たりの単価が取れません。団体ツアーに参加して個人客としてリピーターになるパターンもありますが、個人客の満足度を高めてリピートして貰うというのは、委員の皆様の言うとおりで。

○協議会からの意見

- 温泉に入ると台湾の家族連れが多く来ていると感じますね。駅には中国人が多くいます。北広島市の規模は、受入の環境も含めて大勢来ると困る、という点があると思います。
- 食事の受入も課題の一つです。
 - 中国料理やインドネシア料理を地域で提供すれば、ホテルの宿泊者が立ち寄るかもしれません。地場産の食材で作った中華料理やマレーシア料理を提供すると良いです。
- 宿泊客は連泊が多いですか。どこに行ったらいいかフロントで相談される方はいますか。
 - もちろん。滞在期間が長い方も多いです。パンフレットの整理や、もう少しホテルの中でのご案内を強化したいと思っています。飲食店マップも北広島市内だけではなく、もっと広域的なものをご用意しないといけないと考えています。例えば、札幌市の地下歩行空間やJRタワーに行くにはどうしたらいいか、お店に行くにはどの出口から出るのか、など聞かれますので旅行者の利便性をお手伝いしないといけないと思っています。
- くるるの杜も、レストランが混んでいると、他にどこで食べたらいいか聞かれますので、飲食店マップは必要だと思います。クラッセホテルさんはすぐにご案内できるのですが、他の店となると、メニューの内容や駐車場の数とか、案内が難しくなります。
 - その店でダメだったときに、市内に他の選択肢を用意するのは大事です。
- 2月の旧正月に、北広島駅に中国の方が何人もいらしていました。恐らくクラッセホテルさんに向かう方かと思います。
 - 二次交通側の対応にお任せするのも限界がありますから、案内表示や案内人の整備は必要です。快速エアポートの中に大きな荷物を置くスペースもありません。
 - 手ぶら観光という視点もあります。観光庁でも補助金を出して、推進する動きがあります。

事務局) 北海道開発局では、道路や橋を作るようなハード事業だけでなく、今回の調査のようなソフトの事業も行っています。北海道経済を今後どうするかを検討する開発調査課という部署があって、今回の資料はそのものです。すごく有用だと思ひましてご紹介いたしました。

座長) あとは他になにかありませんか。なければ次に移りたいと思います。

3. その他

【次回開催日について確認】

4. 閉会

座長) それではこれをもって閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。